

令和7年1月28日

石巻市議会議長 遠藤 宏 昭 殿

会 派 名 公明会
代表者氏名 会長 渡 辺 拓 朗

調査報告書

調査した概要は次のとおりであります。

記

- 1 調査者氏名 渡 辺 拓 朗
櫻 田 誠 子
鈴 木 良 広
- 2 調査期間 令和7年1月16日から
令和7年1月18日まで 3日間
- 3 調査地 (1) 宮崎県宮崎市
・「マチナカ3000」プロジェクトについて

(2) 大分県臼杵市
・移住定住について

4 目 的

(1) 宮崎県宮崎市

・「マチナカ3000」プロジェクトについて

宮崎市は九州南東部に位置し、地形は北部から西部にかけて丘陵地が連なり、南部は鱈塚山系、双石山系の山地で占められている。市内の北端には一ツ瀬川が、中央部には大淀川、清武川、加江田川などが東流し、広大な宮崎平野を形成して日向灘に注いでいる。東部の海岸は白砂青松の砂浜が続くが、市南部に位置する青島以南は、山地が海岸まで迫り、複雑な海岸線を呈している。

宮崎市では、中心市街地（マチナカ）で3,000人の雇用創出を目指す“マチナカ3000”プロジェクトに取り組んでおり、中心市街地にICT、広告、デザインなどクリエイティブ産業の雇用を創出することで平成27年から10年間で3,000人の雇用を増やし、その経済活動により地域経済の活性化を目指している。

中心市街地の雇用創出に関する宮崎市の取り組みを学び、今後の本市事業の参考とする。

(2) 大分県臼杵市

・移住定住について

臼杵市は、大分県の東南部に位置し、豊予海峡方面へ楕円状に細長く伸びた地形となっている。東は豊後水道に面した臼杵湾に臨み、南西部は鎮南山・姫岳など比較的険しい山稜が津久見市、佐伯市と接している。河川は、野津川が南西部を東西に流れ、臼杵川・末広川・熊崎川が臼杵湾に注ぎ、これらの河川沿いには水田が、野津地域の北側には畑地が広がっている。

臼杵市では、定住人口の増加を図り活力ある地域社会を実現するため、Iターン者やUターン者などに対し、住宅購入、家賃補助など、移住者増加に向けた移住支援施策を推進している。

移住定住については本市でも課題となっていることから、臼杵市の取り組みについて、今後の事業の参考とする。

5 調査概要

(1) 宮崎県宮崎市

◆ 「マチナカ3000」プロジェクトについて

*視察概要

宮崎市は九州南東部に位置し、地形は北部から西部にかけて丘陵地が連なり、万部は鱈塚山系、双石山系の山地で占められている。市内の北端には、一ツ瀬川が、中央部には大淀川、清武川、加江田川などが東流し、広大な宮崎平野を形成して日向灘に注いでいる。東部の海岸は、白砂青松の砂浜が続くが、市南部に位置する青島以南は、山地が海岸まで迫り、複雑な海岸線を呈している。

宮崎市では、中心市街地（マチナカ）で3,000人の雇用創出を目指す“マチナカ3000”プロジェクトに取り組んでおり、中心市街地にICT・広告・デザイン等クリエイティブ産業の雇用を創出することで平成27年から10年間で3,000人の雇用を増やし、その経済活動により地域経済の活性化を目指している。宮崎市の中心市街地は、中心市街地は、中心市街地のシンボルロード「橘通り」と「高千穂通り」を中心に、東は「老松通線」南は大淀川、西は「黒迫通線」北は「中津瀬通線」に囲まれた南北約1.5km、東西約1.3km、面積162haの区域で宮崎市の顔と位置づけている。

中心市街地の雇用創出に関する宮崎市の取り組みを学び、今後の本市事業の参考とする。

「”マチナカ3000”プロジェクト」とは…

中心市街地に3,000人の雇用を創出することで活性化を図る「マチナカ3000プロジェクト」

ICT（情報通信技術）・広告・デザインなどのクリエイティブ産業の企業誘致や創業者を増やすことで雇用創出を進めている。

平成27年度からの「10年間で3,000人」の雇用を増やし、そこから生まれるさまざまな経済活動によって元気なまちをつくることを目指している。

①企業誘致

②みやざき創業サポート事業(みやざきSTARTUP HUB)

③まちなか商業業務集積推進事業

④まちなか企業立地チャレンジ事業

①企業誘致(例)

世界167の国と地域で事業を手がけ、パソコン出荷台数で

世界第3位の「DELL」サポート拠点を16年前宮崎に開設

”すべての人にインターネット

を合言葉に“2021年2月、サテライトオフィスとして

「GMO hinataオフィス」を開設

②みやざき創業サポート事業(みやざきSTARTUP HUB)

中心市街地に3,000人の雇用創出～中心市街地の活性化
を目指す”マチナカ3000”プロジェクトの核として、創業支援拠点＝『みやざき創業サポート室(みやざきSTARTUP HUB)』を開設している(株)ヒトメディアに運営委託。

【開設日】

- ・平成27年8月17日(月)

【会員数】

- ・1期生(平成27年度)：8名
 - ・2期生(平成28年度)：13名
 - ・3期生(平成29年度)：10名
 - ・4期生(平成30年度)：8名
 - ・5期生(令和元年度)：9名
 - ・6期生(令和2年度)：4名
 - ・7期生(令和3年度)：9名
 - ・8期生(令和4年度)：5名
 - ・9期生(令和5年度)：9名
 - ・10期生(令和6年度)：5名
- … 計80名のうち74名は創業済

【創業の内容】

- ・コワーキングカフェの運営
- ・インバウンド事業
- ・WEBメディア運営、WEB制作事業
- ・ライター育成事業
- ・広告リスティング事業・ママの就労支援事業
- ・飲食店事業
- ・海外展開コンサルティング
- ・不動産業…等

③まちなか商業業務集積推進事業

クリエイティブ産業等の集積を進め、新たな事業・サービスの創出等による”中心市街地の活性化”を目指す「宮崎市まちなか活性化推進計画」に基づき、中心市街地における『空き店舗の活用』や『雇用・就業／商業機能を集積』することで、中心市街地の魅力の創出や回遊性の向上を目的に以下の支援(3つ)を実施している。

※新規募集は令和4年度をもって終了

①空き店舗対策助成金(家賃の1/3)

②情報サービス事業者等助成金(新規雇用につき30万円等)

③施設整備助成金(空調等の整備)

④まちなか企業立地チャレンジ事業

中心市街地に新たな産業の集積や創業による雇用の場の創出を目的として、地方進出を検討しているベンチャー企業を対象に、試行的にオフィス機能を設置するために必要な経費の一部を支援する制度。 ※令和4年度で終了

①受入施設利用料の一部補助

(利用料の1/2,最大6カ月)

②航空運賃の一部補助

(運賃の1/2,最大6カ月)

「マチナカ3000プロジェクト」の現状及びこれから(実績・目標)

②マチナカ3000プロジェクト【実績】

①企業誘致の実績

平成27年からの9年間で92社 新規雇用2,907人

②ベンチャー企業の実績

平成27年からの9年間で23社 新規雇用 75人

③創業支援の実績

平成27年からの9年間で創業者+新規雇用者数417人

「所感」

プロジェクト開始から9年間で、中心市街地への企業誘致は92社。新規雇用は2,907人、ベンチャー企業の実績も23社で75人。創業支援の実績も創業者と、新規雇用者数417人で目標を大きく上回っている。なぜ、達成できたのか。

1. 中心部から車で15分にサーフスポットがある。
2. サーフポイントは、初心者から上級者まで楽しめる16か所がある
3. 2月の平均水温は真冬でもグローブ・ブーツが不要な18℃
4. 年平均気温約17℃
5. 溪谷ハイキング、低山ハイキング等街と自然が近く中心部から自然休養林エリアまで車で30分
6. 中心部から宮崎空港まで車で15分。鉄道で10分等大都市とのアクセスが近い。
7. 牛・豚・鶏・野菜・果実・鮮魚介類など食材の宝庫
8. ニシタチエリア内に約1,000件飲食店が立ち並ぶ。
9. プロ野球春季キャンプ地になっている。

など、好条件が多くあることから、全国自治体等に赴きトップセールスなど行っているのかと聞いたが、マチナカへの企業誘致に積極的に進めたわけでないという事であったが、コロナにより、在宅勤務や、遠隔地勤務などが可能になり、サーフィンをする経営者等の口コミなどにより、創業支援策の充実を図り、10年かけマチナカに人が集まるようになった。石巻市と比べると、素晴らしい環境に恵まれ好条件がそろっているように思うが、外

から見て石巻の良いところをもっと前面に出した、発信で関心を持ってもらうことが重要な事であると感じた。また、中心市街地活性化計画を進めるうえで、明確な目標設定と、人が集う空間づくりが重要であると感じた。

「提言」

宮崎市でも、郊外にイオンが進出し、市内中心部は、空洞化が進んでいた。そのことから、中心市街地域に、人を呼び込み経済も活性化させようと、マチナカ3000を10年がかりで実施し成果を上げている。なぜ、人は、イオンに集まるのか。それは、「イオンの建物の中でまちを形成しているから」との観点からの発想は納得するものがあった。

まちづくりは、一朝一夕にできるものではなく、長い目で見なければならぬ事から、担当者の熱のこもった引継ぎが重要である。

宮崎市では、少子高齢化に伴う人口減少が進展する中、将来にわたって持続可能な市民サービスを楽しむためには、持続可能な地域経済の発展とそれを支えるまちづくりが求められることから、10年を経て目標を達成したマチナカ3000を終了し、7年度からオープンシティ推進拠点創出事業を実施し、新たな地域課題解決のために、まちなかに多様な人材・関係人口が集い、交流、滞在する場所が必要である事から、交流・共創拠点を設置し、公民連携をはじめ、民間同士の連携など、市内外の多様な人や企業等が自由につながり、連携して課題解決に向けてチャレンジする事。そして、それを動かしていく組織・場が必要である事から、民間主導で一般社団法人宮崎オープンシティ推進協議会が設立。市長、副市長も理事として入る。これまでの事業プラス、推進協議会がローカルスタートアップの創出や、地域企業のイノベーション創造、食産業・農業の革新と発展、交流・共創の場の運営など担っていく。次の展開が楽しみである。まちづくりはひとづくり。少子高齢化、人口減少など厳しい状況が続いていくが、いかに、人を呼び込むか、石巻の魅力の発信、企業誘致も最大限に発揮し、活性化に繋げなければならない。

(2) 大分県臼杵市

◆ 移住定住について

【視察概要】臼杵市の状況

豊後水道に面した臼杵湾で豊富な水産資源に恵まれ、市の南西部に広がる広大な田畑において積極的に有機農業に取り組んでいる。古くから醸造業、造船業が盛んで、創業100年を超える地場企業が多く残る。

面積：291.20 km² 人口：35,391人 世帯数：16,906世帯 高齢化率：42.1%

(2024年4.1現在)



▷移住・定住施策体制の確立

●経緯

《平成25年度》臼杵市協働まちづくり会議の設置

- ・組織の横の連携 → 組織の枠を超えた施策
- ・4つの部会の設置
- ・定住促進部会 → 移住支援連携会議

《平成26年度》協働まちづくり推進局設置

- ・移住・定住サポート支援、相談窓口【協働まちづくり推進局】
- ・空き家バンク制度スタート【都市デザイン課】

《平成27年度》臼杵市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定

- ・移住・定住策は重点施策として位置付け

- ・各種施策の充実と発展的な実施
- ・移住支援補助制度スタート【都市デザイン課】

《平成29年度》**定住支援員の配置**

- ・移住・定住相談、空き家バンク対応のワンストップ化
(秘書・総合政策課 ⇄ 都市デザイン課)

《平成30年度》**移住・定住相談窓口の一本化**

- ・移住・定住相談、空き家バンクに関する業務を秘書・総合政策課(協働まちづくり Gr)に一本化

《令和4年度》**グループから課に発展**

- ・移住施策と地域の活性化、地域共生施策を横断的に取り組む**地域力創生課**
(地域共生 Gr/定住促進 Gr)

▷**空き家バンク制度 空き家の活用を促進!**

- ・**空き家を「売りたい・貸したい所有者」と「買いたい・借りたい」利用者をマッチング!**
- ・**空き家・空き地情報を全国に発信**
- ・**360度カメラを活用したバーチャル内覧**

空き家バンク制度

補助金名	事業内容	補助額	補助率	対象者
活用促進補助金	家財処分費の補助	10万円以内	10/10	空き家バンク所有者・利用者
	仲介手数料の補助	5万円以内	10/10	空き家バンク利用者
改修補助金	【改修工事型】業者が行う改修工事の費用に対する補助	100万円以内	1/2	利用移住者
	【リフォーム(DIY)型】移住者本人が空き家の改修を行う際の原材料費や業者に依頼する経費等に	50万円以内	1/2	市内在住で買家居住の利用者
	原材料費等に対する補助	50万円以内 材料費:30万円以内 道具他:20万円以内	1/2	空き家バンク利用移住者
	一部工事を業者に依頼する経費の補助	25万円以内		

空き家バンク制度

空き家バンク実績

年度	登録件数	成約件数	市内利用	市外利用
H26 (2014)	24件	3件	0件	3件
H27 (2015)	33件	18件	5件	13件
H28 (2016)	35件	22件	12件	10件
H29 (2017)	43件	22件	9件	13件
H30 (2018)	58件	30件	16件	14件
R 1 (2019)	50件	31件	11件	20件
R 2 (2020)	61件	46件	26件	20件
R 3 (2021)	50件	49件	21件	28件
R 4 (2022)	38件	42件	25件	17件
R 5 (2023)	37件	38件	18件	20件
合計	429件	301件	143件	158件

空き家活用事例① 【参考】

2019年 レストラン開設を希望していた料理人の家族が、里山地域にある築41年の母屋とみかんの貯蔵庫が附帯した古民家を改修し、「里山フレンチ「mikangura(みかんぐら)」」をオープン。地元の「ほんまもん農産物」等を使用した料理が好評!

BEFORE

AFTER

Iターン

30代 子育て世代

レストラン 開設

空き家活用事例② 【参考】

2018年 大林宣彦監督が臼杵市で制作した映画「なごり雪」の舞台にもなった城下町の古民家を再生し、整体、民泊、海外の雑貨販売、ライター業等、複数の事業を展開している。

BEFORE

AFTER

Uターン

40代 単身女性

整体・民泊
雑貨販売・ライター

▷移住前に臼杵体感

・移住希望者向けモニターツアー ～うすきおためし暮らし～

・夏休みを利用した移住ツアー 【小学校見学、自然体験（海遊び）】

・オンライン移住セミナー&体験ツアー

・臼杵おためしハウス

移住前に臼杵体感 【平成26年度～】

移住希望者向けモニターツアー

～うすきおためし暮らし～

年3～4回、2泊3日で開催（定員20名）
※令和3年度からは個別オーダーメイド型で実施中

ツアーメニュー

- 農村民泊
- 全体説明
- 空き家物件見学
- 生活インフラ見学
- 小学校見学
- 農場見学
- 制度説明会・相談会
- 交流会（移住者参加）

臼杵・時間・体感

移住前に臼杵体感 【令和2年度～】

オンライン移住セミナー&体験ツアー

コロナ禍において、都市部の移住フェア等への参加が難しいため、臼杵市独自のオンライン事業を展開 ⇒興味・関心をもった方は現地体験へ

子育て世代の移住者も出演して移住希望者と意見交換。お宅訪問なども実施！

年3回程度開催
各回15～20組が参加

移住フェア等が開催される東京、大阪だけではなく、全国から参加可能

夏休みを利用した移住ツアーの様子①

～小学校見学～



移住前に臼杵体感

臼杵おためしハウス

移住を検討している方が、一定期間滞在してゆっくりと臼杵の雰囲気を体験する中でその魅力を見出し、居住地域や住居などを選定できるように、**移住体験滞在施設「臼杵おためしハウス」**を設置しています。

ほっとさんの家（R5.6月オープン）

木造平屋建て・4DK
1泊2,000円
連続7日まで利用可

5すき

レンタカー借上料補助金（H29年度～）

【助成額】
レンタカー借上料の2分の1
（上限3,000円 最大3日間）

【対象】

- ・市外からの移住希望者
- ・空き家バンク物件2件以上見学
- ・滞在中に市担当者に移住相談

▷移住支援

・各種支援策を紹介

・しごと紹介サービス、移住ガイドブック、移住ポータルサイト、移住促進ポスターなどを活用し、「臼杵の住みやすさ」をPR

移住支援

移住支援制度

スムーズな移住を支援します！

【基本条件】
5年以上市外に住民票を移していた人で、今後5年以上定住すると誓約できる人

種別	補助金名	事業内容	補助額	補助率	対象者
Uターン支援	① 移住支援補助金	引越費用の補助	10万円以内 (子育て世帯20万円以内)	2/3	県内移住者
		移住応援給付金	20万円 新着夫婦(40歳以下)30万円 子育て(中学生以下)世帯 40万円	-	県外移住者
	② 定住促進住宅取得補助金	新築補助 購入(新築・中古)補助	100万円以内 市外移住世帯10万円 補助加算(10万円) (合計最大120万円)	1/10	市外からの移住者
Uターン支援	③ 若年・子育て世帯家族補助金	若年単身者(30歳以下)への家賃補助	月15,000円以内 (最長24月)	社会費等を 負担した世帯 月給の1/2	市外からの 移住者
		若年夫婦(40歳以下)への家賃補助	月15,000円以内 (最長24月)		
Uターン支援	④ Uターン支援住宅改修補助金	1年以上空室にしている 美観等の改善費補助	50万円以内	1/2	Uターン者

移住者数の推移

※移住支援補助制度を利用した移住者

年度	世帯数	移住者数
H27年度	78世帯	172人
H28年度	77世帯	203人
H29年度	112世帯	266人
H30年度	95世帯	220人
R元年度	117世帯	255人
R2年度	104世帯	231人
R3年度	106世帯	226人
R4年度	102世帯	211人
R5年度	114世帯	246人
合計	905世帯	2,030人

【令和6年度～】

しごと紹介サービス

移住希望者に対し、市内企業紹介、就職あっせんによるマッチング

白杵市しごと紹介サービス
うすきは仕事も住居もトータルサポートします！

地域力創生課(移住相談窓口)
移住相談専用ダイヤル0943-22-1111

白杵市しごと紹介サービスとは？

白杵市しごと紹介サービスの魅力

- 1 移住相談・次職相談
- 2 企業情報提供
- 3 家賃申込
- 4 企業とのマッチング
- 5 面接
- 6 就職

移住支援

移住ガイドブック・移住ポータルサイト

移住ガイドブック(地域おこし協力隊監修)
R5リニューアル!!

移住・就職支援サイト「うすき暮らしナビ」

- 空き家・空き地情報
- 移住者インタビュー
- 子育て環境
- しごとサービス
- 求人情報検索

一時間程度で通勤できる求人情報

移住支援

移住促進ポスター 白杵地域版

都市部での移住相談会や市内の施設・店舗等でも「白杵の住みやすさ」をPR

移住支援

移住促進ポスター 野津地域版

都市部での移住相談会や市内の施設・店舗等でも「白杵の住みやすさ」をPR

▷定住促進

- ・各種支援策を紹介
- ・移住定住サポーターの配置、移住者交流会、定住促進住宅補助金、新婚生活支援、婚活支援、起業支援・研修制度など支援体制が充実

定住促進

～移住から定住へ～

【平成28年度～】

移住・定住サポーター

◆活動内容

- 相談対応(相談・案内、地域への橋渡し)
- 移住定住情報の発信(情報提供および移住定住イベントへの協力)
- 移住者交流、ネットワークの構築(交流会等の企画、実施、参加)

74名が登録(移住者51名)

定住促進

うすき食文化フェス2024 移住者交流会

コロナ禍の中で移住してきた家族を中心に、移住者間の交流促進、白杵の食文化の意識高揚を図る

第一部 食文化講座「教えます♥楽しく学べるうすきの食のヒミツ」

第二部 交流タイム

白杵産食材の料理や飲み物を楽しむ

定住促進

定住促進住宅補助金

市内の若者・子育て世代の定住を促進!

補助金名	事業内容	補助額	補助率
① 三代家族定住支援住宅補助金	新築補助	100万円以内	1/5
	購入(新築・中古)補助		
② 同居家族支援住宅補助金	新築補助	50万円以内	1/5
	購入(新築・中古)補助		
③ 若年・子育て世代定住促進住宅取得補助金	新築補助及び購入(新築・中古)補助	20万円以内 市外通勤者加算10万円 地元業者利用加算10万円 地域加算10万円 (合計最大50万円)	1/10

定住促進

新婚生活応援

新婚世帯の定住をしっかりと応援!

【基本条件】
双方が40歳以下の夫婦
又は15歳以下の子がいる世帯で、今後5年以上以上定住すると誓約できる人

補助金名	事業内容	補助額	補助率
① 新婚生活応援補助金	仲介手数料の補助	5万円以内	10/10
	引越費用の補助	5万円以内	2/3
② 新婚世帯家賃補助金	新婚世帯(夫婦のみ)	月30,000円以内(最長24月)	共益費等を除いた家賃月額1/2
	子育て(中学生以下)	月30,000円以内(最長36月)	
③ 新婚世帯結婚祝い品	新婚夫婦へ商品券贈呈	22,000円分	-

定住促進

婚活支援

結婚を希望する独身男女の婚活を応援！

■臼杵市婚活推進協議会
民間、地域、市民、行政が協働で婚活事業に取り組むための組織で、年2回ほど開催

■臼杵市結婚支援員「イランショウさん」
独身男女の縁結び・婚活イベントの参加呼びかけなど、お世話焼き活動をボランティアで行う結婚支援員「イランショウさん」を設置【女性10名・男性3名】

（活動）
★情報連絡会・・・3ヶ月に1回程度開催（コロナ禍前）
★出合いの仲介、婚活パーティーへの参加呼びかけや同席・・・随時
★イランショウさんのお茶会・・・定期開催

■若者交流促進事業補助金
結婚を望む独身男女を対象とした婚活パーティーやセミナーなど、結婚に向けた活動を支援する事業を実施する団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付【上限30万円】



定住促進

起業支援・研修制度

空き店舗等総合支援事業補助制度 【産業観光】
商店街等の空き店舗、空き家活用での事業を開始する出店者に対する補助

漁業担い手育成交付金 【産業観光】
漁業の担い手となる方への定住、就業、定着を支援するために交付

農業研修制度 【農林振興】

- 地域おこし協力隊・・・先進農家での3年間の研修の後、有機農家として独立をめざす
- アグリ起業学校・・・ピーマン農家として自立するため1年間、生産から出荷までの研修を行う
- ファーマーズスクール・・・市が認定した就農コーチ（農家）のもとで1～2年間の研修を行う

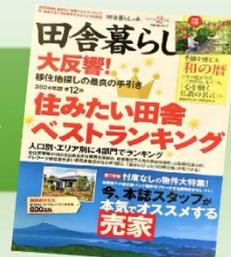
移住・定住促進の取り組みを粘り強く続けた結果・・・

田舎暮らしの本〈宝島社〉
全国住みたい田舎ベストランキング 2024
(3万人以上5万人未満のまち)

総合部門第2位
シニア世代部門 第2位
(7年連続上位)の快挙!

田舎暮らしの本〈宝島社〉
全国住みたい田舎ベストランキング2024
(3万人以上5万人未満のまち)

総合部門第2位
シニア世代部門 **第2位**
(7年連続上位)



～今後の課題～

○移住後のフォロー

移住後における地域生活や教育環境などの困りごとに対する支援環境、体制の充実

○地域と連携した受入れ環境

自治会や地域振興協議会等の地域コミュニティと連携した受入れ環境の整備（空き家の掘り起こし含む）

○若者・子育て世代の定住

臼杵の住みやすさや助成制度の周知徹底、市内企業等との連携強化による都市部に流出する若者・子育て世代のUターン促進

○住環境の整備

新築需要に対応するための住宅用地造成、道幅が狭い地域の道路等整備

【所感および市への政策提言】

移住定住の促進に向けて“魅力あるまち”をPRするため、さまざまな取り組みをされている印象。高齢化率は高いが、子育て世代の支援制度も充実しており、移住者の年代別割合では40代以下の若者世帯・子育て世帯が多い傾向。補助金などの支援制度以外にも移住体験ツアー、おためしハウス、移住者交流会などもあり幅広い取り組みを行っている。行政のみならず移住者同士のコミュニティの機会もあり、実際に住んでみたくなるようなPR手法をとっていると感じた。各種支援策の充実、働く場所の確保（企業誘致）等とあわせ、本市独自の魅力をもっと発信し、“住みたい・帰りたい”と思う街づくりに注力してもらいたい。

6 調査経費 294,320円

7 添付書類 別添資料のとおり

お問い合わせ

石巻市議会事務局 議事調査係

〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号

Tel : 0225-95-1111 (内線6916)

Fax : 0225-96-2274

Mail : assesc@city.ishinomaki.lg.jp